

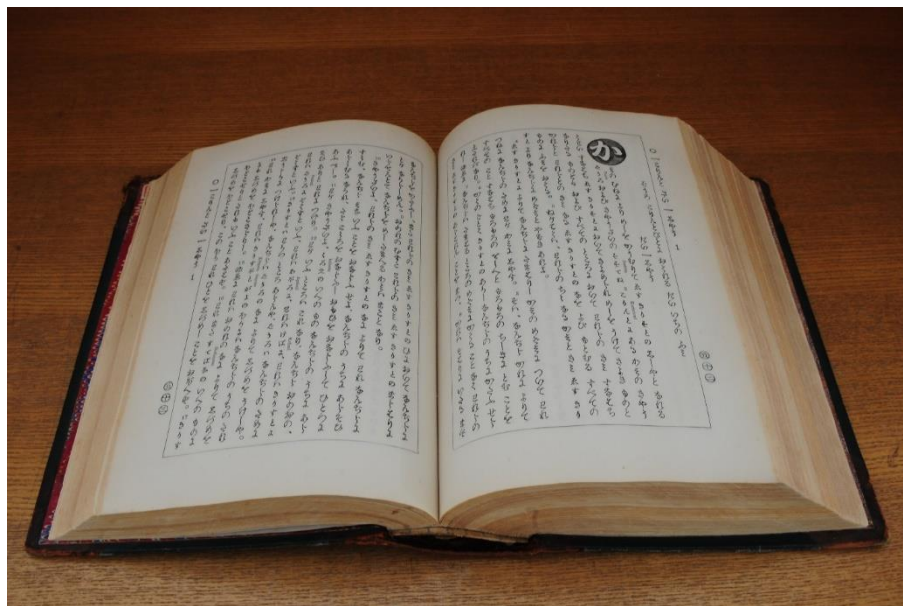
日本初の新約聖書 『志無也久世無志與』

日本初の新約聖書の全訳は1879（明治12）年、キリスト教バプテスト派日本初代宣教師ネイサン・ブラウンによって出版された「志無也久世無志與（しんやくぜんしよ）」である。

関東学院の源流となる横浜バプテスト神学校設立に尽力したブラウンは、聖書の翻訳にも情熱を注いだ。当初、ブラウンはヘボンら在日宣教師が共同で聖書を訳す聖書翻訳委員社中に参加したが、翻訳方針の相違から委員社中を離れ、独自の新約聖書を作り上げる。

本書は英語訳聖書からではなくギリシャ語原典から忠実に訳され、平仮名の連続体の活字で表記されている。大衆に分かりやすいよう語り言葉を用いられた本書は、聖書和訳史、また印刷史においても重要な、世界でも数少ない稀覯書（きこうしよ）である。本書からは、来日からわずか6年で全訳を成し遂げたブラウンの卓越した語学能力と宣教への情熱を感じ取ることができる。

（初出「神奈川新聞」2014年6月23日付）



本学図書館貴重資料 『志無也久世無志與』